

# うひはたぶみ (初機踏)

H.A.M.A.木綿庵だより  
第46号

2020(令和2)年10月26日

(編集発行 梅田正之 090-5042-7775)

## 初めて糸をかけました

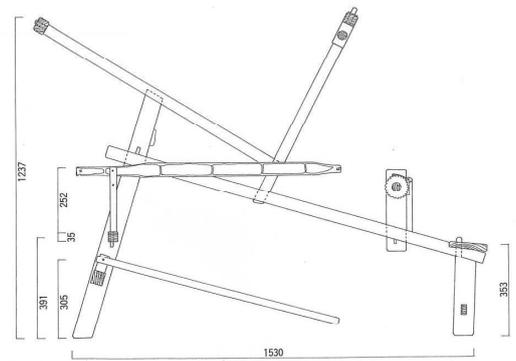
— この機の特徴を明らかに —

本年7月に拙宅に届いた大和機(やまとばた)に、初めて糸をかけました。この機は相楽木綿伝承館を介して手配していただいたもので、京都府木津川市にある京都府立山城郷土資料館に保存されている大和機の復元モデルです。

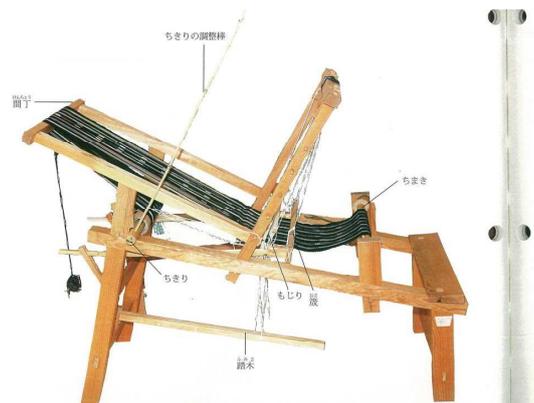
山城郷土資料館に保存されている大和機は1台とのことですが、大和郡山市にある奈良県立民俗博物館には県内各地より蒐集された大和機が多数保存されています。『奈良県立民俗博物館研究紀要』第12号(1990)所収の横山浩子「当館所蔵の傾斜高機—いわゆる大和機について—」にはそのうち比較的保存の良好な収蔵資料19点について、詳細な実測データが2種類の一覧表にまとめられて掲載されています。1つは「材質、チキリ止め装置の形状、箆の取り付け位置」の違いに焦点をあてて一覧表にまとめたもの。もう1つは各部材の寸法を細かく実測し、そのデータを一覧表にまとめたものです。「前脚の長さ、間丁の長さ、間丁角度」など、各機の違いが特徴的にあらわれる部分のデータは、地域差を考える上でも大変参考になります。また、『奈良県立民俗博物館研究紀要』第13号(1993)所収の横山浩子「大和の傾斜型高機—当館の所蔵資料から—」には、そのうちの12台の機について写真とともに正面、横面、真上面から実測した図面が掲載されています。右側上段に掲げた図面は山添村峯寺から採集された大和機(収蔵番号12-12)の横面の図面です。

中程の写真は、相楽木綿伝承館の機織り教室で用いられている大和機です。『相楽木綿伝承館10周年記念誌—相楽木綿10年の物語』(2019)の18頁に掲載されています。伝承館には複数台の大和機が設置されていますが、すべてが山城郷土資料館に保存されている機の復元モデルです。その機を用いるところに伝承館の存在意義があるからです。

下段の写真は拙宅の大和機です。伝承館の機と同じタイプです。いずれこの機を正確に実測することによって、この機の特徴を明らかにしたいと思います。※大和機に関しては本誌第4号、27号、43号を併せてご参照ください。



奈良県立民俗博物館所蔵の大和機



相楽木綿伝承館所蔵の大和機



拙宅の大和機

### ----- Monthly Data -----

【天理やまのべ木綿庵】(問い合わせ件数 令和2年9月24日～令和2年10月23日)

福島県1、東京都1、大阪府1、奈良県1

【H.A.M.A.木綿庵】(令和2年9月24日～令和2年10月23日)

メールを含む各種相談件数11、綿畑や作業場の見学を兼ねた事前申込済来庵者数7件17名



## 《綿の栽培記録 2020》－ 令和2年度版 その9－

天理市乙木町における梅田の感覚的観測データです。○=晴れ。△=曇り。×=雨。○/×=晴のち雨。○|×=晴時々雨。  
△:×=曇り一時雨。9月26△、27○|△、28○、29○|△、30○|△、10月1○、2○、3○|△、4△、5○|△、6○|△、7△/×、8×、9×、10×/△、11△、12○、13○、14○、15○、16○、17×、18○、19○、20○、21○、22△/×、23×/△、24○、25○。

10月に入り、収穫量は目に見えて減りました。7日以降は定期的に降る雨のために綿摘みのタイミングを逸し、ほとんど収穫できないでいます。綿の収穫もいよいよ終わりの時期を迎えています。

### 〈収穫祭を分散開催〉 第3回：令和2年10月4日(日)、第4回：10月17日(土)雨天中止

今年は新型コロナウイルス対策として1回の参加者を5名程度に限定し、完全予約制で6回に分けて開催しています。第3回「綿摘み&綿打ち体験(じんき作り)」は4名の方にご参加いただきました。なお、第4回は屋外で草木染め体験を行う予定でしたが、雨天のため中止とさせていただきます。

写真左より：10月16日の収穫量、1号畑の全景、丹波布伝承館内の展示の様子、技術認定者による丹波布の作品の数々。



### 〈丹波布伝承館をねて〉 － 柳宗悦が見いだした「佐治木綿」－

天理から西名阪、近畿道、中国道、舞鶴若狭道、北近畿豊岡道を利用すると、車で約2時間。青垣ICの道の駅に「丹波布伝承館」があります。明治末期まで丹波佐治の地で農家によって盛んに織られていた木綿布は、おもに京都方面で「佐治木綿」として売られていました。一度は人々から完全に忘れ去られたこの織物を柳宗悦が見だし、「丹波布」として世に知らしめました。現在は国指定選択無形文化財、兵庫県伝統的工芸品に指定されており、その素朴な美しさは格別です。伝承館には伝習生制度があり、一定の研修と経験を積んだ技術認定者によって制作された反物だけが丹波布として認められます。手紡ぎ、手織り、草木染めにこだわる丹波布は、木綿庵が目指す「大和山辺木綿」の一つの理想型とも言えます。

#### 【綿の加工の作業記録】 (梅田1人の作業量)

- 糸車を用いての糸紡ぎ量 (和綿：平成30年, 2018年産。丹羽正行氏による打ち綿)  
9月24日～10月23日 (作業実日数19日) 糸の総量61.6g (16.4匁) 総時間252分 (4時間12分)  
※1分間≒0.244g 1時間≒14.6g (3.9匁)

#### 【研修等の記録】

- 令和2年09月27日「相楽木綿伝承館：機織り教室専科」(京都府相楽郡精華町)にて綜統通し、箆通し。
- 令和2年09月28日「NAFIC」(桜井市)短期農業研修：講義。秋冬野菜の栽培。マーケティングⅡ。
- 令和2年09月29日「NAFIC」(桜井市)短期農業研修：実習。露地野菜の追肥と害虫防除。
- 令和2年10月04日 収穫祭③「綿摘み&綿打ち体験(じんき作り)」を開催。1号畑にて。参加者4名。
- 令和2年10月05日「NAFIC」(桜井市)短期農業研修：講義。農業経営Ⅱ。鳥獣害対策Ⅱ。
- 令和2年10月06日「NAFIC」(桜井市)短期農業研修：実習。秋キュウリの収穫、整枝、防除。露地野菜管理。
- 令和2年10月11日「相楽木綿伝承館：機織り教室専科」(京都府相楽郡精華町)にて、箆通し(後半)。
- 令和2年10月12日「相楽木綿伝承館：機織り教室専科」(京都府相楽郡精華町)にて、機掛け。
- 令和2年10月13日「NAFIC」(桜井市)短期農業研修：実習。秋キュウリの収穫、整枝、防除。露地野菜管理。
- 令和2年10月18日「相楽木綿伝承館：機織り教室専科」(京都府相楽郡精華町)にて、機織り。
- 令和2年10月20日「NAFIC」(桜井市)短期農業研修：実習。パイプハウスの組み立てと撤去。野菜収穫。
- 令和2年10月24日「丹波布伝承館」(兵庫県丹波市青垣町)訪問、見学。
- 令和2年10月24日「丹波布展」vol.8(兵庫県丹波市柏原町)訪問、鑑賞。イラズムス・千尋氏にお話を伺う。
- 令和2年10月25日「相楽木綿伝承館：機織り教室専科」(京都府相楽郡精華町)にて、機を下ろし持ち帰る。
- 令和2年10月26日「NAFIC」(桜井市)短期農業研修：現地研修。「あすか夢販売所」(明日香村御園)